

ベルマーク新聞 9月号

発行 公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035
大阪事務所 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

地震、雪崩…災害から身を守るには

大阪・郡津小学校で第1回防災科学教室



ベルマーク財団と国立研究開発法人防災科学技術研究所が協力して今年度から実施する「防災科学教室」の第1回が8月30日大阪府交野市立郡津(こうづ)小学校(恒松小百合校長)で開かれ、3、4年生の児童約200人が参加しました。

講師は、防災科研の研究員のDr. ナダレンジャーこと納口恭明(のうぐち・やすあき)さんと、助手の「ナダレンコ」こと罇優子(もたい・ゆうこ)さん。金髪のかつらにつけひげ、地下足袋姿のナダレンジャーは「不審者ではありません、雪崩(なだれ)の専門家で、こう見えても博士です」と挨拶。どっと笑い声がおきました。

穴のあいたバケツを使って圧縮した空気を飛ばす「突風マシン」、膨らませた長いビニール袋に発泡スチロール粒を入れて雪崩の様子を再現する「ナダレンジャー0号」など、様々な道具が登場します。「災害を起こす自然現象も、ミニチュアにすればおもちゃになります。反対に楽しい実験もスケールが大きくなると災害になるんだよ」

地震時にマンホールのふたが地上に飛び出たりする液状化現象の説明には、ペットボトルで作る「エッキー」を使います。頭の丸いマップピンと砂、水が入っていて、振ってからしばらく置き、ペットボトルの横を軽くはじくと、砂に沈んでいたマップピンが浮き上がってきます。

長さが違う3つの細長いスポンジをビルに見立てた「ゆらゆ



ら」では、地震の際の揺れ具合の違いがわかります。素早く揺らすと一番短いスポンジが揺れ、ゆっくり揺らすと長いスポンジだけが揺れるのを見て、子どもたちはびっくり。「地震の波の違いによって揺れ方が変わるんだよ」

最後に発泡スチロールのブロックを高く積んで、地震でブロックが崩れる様子を再現。6月の大阪府北部地震でブロック塀が倒壊し子どもが亡くなった例を挙げて、「みんなも危ないと思ったらすぐ逃げてね」と力を込めました。

45分の授業の中で、ナダレンジャーは何度も繰り返しました。「大災害にあったら守ってくれる人はいません。自分で自分を守るようになってください」。授業が終わり、素顔に戻った納口さんと罇さんは、一人ひとりと笑顔でハイタッチ。平井肇教頭先生は「子どもたちが本当に楽しんでいる様子が伝わってきました」と感想を述べました。

郡津小は今年創立50周年。卒業後も校区内に住み、2世代で同小という家庭も多いといいます。昨年度のPTA副会長の林ミドリさんもその一人で「ベルマークは私が子供の頃から集めています」。50周年記念実行委員会・事務局長の山崎信彦さんは「日頃みんなが頑張って集めているベルマークと一緒に記念になる事ができたらと考え、今回の企画が実現しました」と語りました。



(左上) 発泡スチロールが雪崩のように降ってきたら…

(左文中) Dr. ナダレンジャーとナダレンコさん

(右上) ブロック落下実験

(右下) 最後は笑顔でハイタッチ

財団と防災科学技術研究所が協定

「教室」実施で

ベルマーク教育助成財団(銭谷眞美理事長)は8月9日、国立研究開発法人防災科学技術研究所(林春男理事長)と、「防災科学教室」の実施についての包括連携協定を結びました。財団の銭谷理事長と、防災科研の林理事長が、それぞれ協定書にサインしました。

「防災科学教室」は、防災科研がベルマーク運動参加校に研究者を派遣し、地震や豪雨、雪崩など自然災害の仕組みや危険回避の方法を学びます。防災科研からの提案で、財団の「教育応援隊」の一環として、今年度は全国の10余校で順次開催します。

防災科研の林理事長は「財団とのつながりがもてることは、研究への理解を広げる上でとても効果的」、ベルマーク財団の銭谷理事長は「災害支援の比重が年々大きくなる中、防災の知見を子どもたちに伝えてもらえるのはうれしい」と話しました。



ベルマーク財団の銭谷眞美理事長(左)と防災科研の林春男理事長

マヨネーズのことならお任せ!

🚩 キューピー「マヨテラス」を見学



(左)マヨテラスの外観
(右)マヨネーズドームの入り口

マヨネーズの歴史やおいしさの秘密などが学べる、協賛会社キューピー（ベルマーク番号07）の「マヨテラス」を、7月に財団職員が見学しました。

東京都調布市の京王線仙川駅から、甲州街道沿いに少し西へ歩いたところに、空からだど六角形に見える不思議な建物「仙川キューポート」があります。同社の研究施設等が入っている建物です。その六角形の1階の2辺が「マヨテラス」。完全予約制で、平日に1日3回（1回25人まで）、各90分の見学を受け付けています。コミュニケーターと呼ばれるガイドが案内します。



建物中に入ると、まずは明るい「サラダホール」。白い床はお皿を、置かれたソファはトマトやカボチャ、ブロッコリーなどの野菜をイメージしているとのこと。そう教えてくれたのは羽生田雅子さん。昨年11月からコミュニケーターをしている笑顔の素敵な方です。

ホールの右手は、マヨネーズやキョ

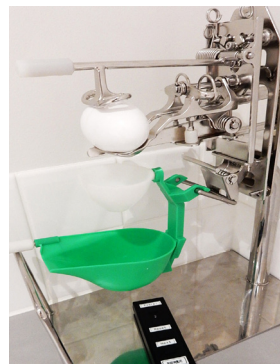


ーピーの歴史を学べるギャラリーです。マヨネーズという言葉の語源は、スペインの港町、マオン。18世紀中頃にフランス人リシュリュ公爵が町の食堂で出会ったソースのおいしさに感激して広めた際、「マオンネーズ（マオンのソースという意味）」→「マヨネーズ」となったようです。そのマヨネーズにアメリカ留学中に会い、1925年（大正14年）日本で初めてマヨネーズの製造・販売を始めたのが、キューピーの創始者・中島董一郎でした。ギャラリーでは懐かしい過去のCMなども見ることができます。

ギャラリーの反対側にあるのが「マヨネーズドーム」。赤いキャップのマヨネーズ容器を横にした形で、通常のボトル（450g）の50万倍の大きさとのこと。星形の絞り口から中に入り、マヨネーズのおいしさの秘密や工夫についての話を聞きます。キューピーでは世界のいくつかの国でマヨネーズを製造し、販売して

いますが、国ごとにボトルの形やデザインが異なるそうで、色んな言語でパッケージされた実物が展示されていました。

ホールの正面には「ファクトリーウォーク」。最初の通路では、いきなり両サイドからシュッと強風が。ここは工場をイメージしており、体に着いたゴミを取り除くためのエアシャワーです。タマゴを割ったり原料を混ぜたりする工夫や、キューピーマヨネーズには使用しない白身・殻の利用法などが学べます。



ギャラリーの奥にはキッチンがあります。見学者は、ここで実際にマヨネーズとサラダの試食ができるため、人気のコーナーです。また育児食の講義を行ったり、小学校の自由研究向けに研究員が話をしたりなど、様々なイベントも開かれています。

建物の敷地には、別棟で「キューピーショップ」があります。同社の製品やキューピーグッズ類などを買えるほか、長寿番組「キューピー3分クッキング」の模型展示コーナーや、オープンテラスにカフェスペースもあり、ゆっくりとく

つろいで楽しめます。

「マヨテラス」のある仙川には、昔はキューピーマヨネーズの工場がありました。筆者は子どもの頃、仙川に住んでいたのですが、当時、甲州街道の向かい側には栄太郎飴の工場があり、キューピーと栄太郎は地元の2大工場として有名だったことを覚えています。その後キューピーの工場は老朽化などもあって2011年に操業を終え、跡地に建ったのが「仙川キューポート」。その一角に「マヨテラス」がオープンしたのは2014年6月で、今年で開設5年目に入っています。ちなみに栄太郎の工場も2013年に八王子に移転しました。

「マヨテラス」の見学はネットか電話（03-5384-7770）による予約が必要です。ネット予約はHP（<https://www.kewpie.co.jp/mayoterrace/>）の「予約」のところをご参照ください。一般向けの駐車場はなく、来訪する際は公共交通機関をご利用ください。



おむすびコーナーに新回収箱

🚩 ファミリーマート、デザインを一新して設置

協賛会社のファミリーマート（ベルマーク番号23）が、店頭用の回収箱のデザインを一新し、店舗のおむすびコーナーに設置することになりました。

ファミリーマートのおむすびにベルマークがついていることを、来店された方にわかっていただきたい、またイートインコーナーがある店が増えてきているので、その場でベルマークを箱に入れてもらえれば、というのが狙いだそうです。箱は投函口を大きくして、お客様がベルマークを入れやすいように工夫したとのことでした。

写真の通り、箱の片側には「おむすび全品にはベルマークが付いています」という文字が、大きなベルのマークとともに飾りつけられていて、店頭でも目に留まりやすいデザインです。ファミリーマートに行ったら、おむすびコーナーをチェックしてみてください。

また、ファミリーマートが募集している「ありがとうの手紙コンテスト」の締め切りは10月1日（消印有効）です。小学生に、日頃の「ありがとう」の気持ちを書いてもらうコンテストで、感謝を伝える相手は人でも動物でも物でも構いません。同社のHPでは、池上彰さんを始めとした審査員からのメッセージや、過去の受賞作品などを見ることが出来ます。問い合わせは0120-611260へ。

みんなで
ちょきちよき



コツコツ頑張って、大台達成しました

山口県下関市立豊浦小 1100 万点

山口県下関市の中心部から北東へ約 8km、江戸時代に長府藩 5 万石で盛えた城下町に、同市立豊浦小学校（井上成人校長・児童 901 人）はあります。周囲は今も古い街並みと神社・仏閣が残り、当時の武家屋敷の練堀は市の有形文化財です。今年 2 月、累計点数が県内で初めて 1100 万点を超えました。参加 56 年・154 回目の送付での達成です。



同校では PTA のことを育友会と呼び、ベルマークは厚生部が担当しています。月初めの「ベルマークの日」に回収したマークを、各クラスの厚生部の委員が家庭で会社別の袋に仕分け、枚数と点数を記入します。

全体集計は学期に 1 回、隣接する教育資料館で行います。毎回、ほぼ全員の委員が参加し、真剣に集中して作業します。厚生部長の谷口真弓さんは「皆で助け合って活動しているので充実感があります。仕事をしている方が多いので、少しでも負担を減らせるように工夫しながら続けていきたい」と話してくれました。

昨年度の部長を務めた篠田美千代さんによると、豊浦小はベルマークに意欲的な家庭が多いそうです。「先生方や学校を訪れる保護者がいつでもマークを入れるよう、事務室の前に回収箱を置いています」。



児童の関心を高める工夫も。毎月各クラスの一人平均の枚数を校内放送で発表するほか、学期ごとにマークの枚数を多く集めたクラスを表彰しています。また毎年 11 月の「とよら祭」では、マーク 5 点で 1 回くじを引ける「ベルマークくじ」コーナーを設けているそうです。こうした活動の成果として、昨年度は目標だった運動会の優勝旗を購入できました。

育友会の活動について井上校長は、「大規模校なので集まるマークも多く、整理が大変だと思いますが、いつも熱心に活動して下さっています」と感謝を語りました。



鹿児島県指宿市立丹波小 700 万点

1970 年 7 月にベルマーク運動に参加した鹿児島県の指宿市立丹波小学校（川上哲博校長・児童 535 人）が今年 2 月、県内で初めて累計 700 万点を達成しました。財団にマークを送った回数は計 133 回、1 回平均 5 万点余りになる計算で、地道に、着実に点数を積み上げた結果だといえそうです。



JR 指宿駅で、授業の一環として手作りの観光パンフレットを配っていた丹波小の子どもたちが、学校まで案内してくれました。榊宏三教頭先生のお声かけで、PTA 厚生部の昨年度部長・東明代さん、同副部長の山口晴奈さん、今年度 PTA 会長の池増慎悟さん、同副会長の北蘭ゆう子さんに集まっていたき、話をうかがいました。

厚生部は月 1 回集まってマークの仕分け・集計作業をし、学期毎に発送します。保護者間のコミュニケーションの場として厚生部は人気だとのこと。活動を経験した人の意識は高く「冷蔵庫に一覧表を貼り、買い物ではベルマークのある商品を探します」。各クラスのサッカーボールや家庭科で使うアイロン、体育館のマットなど、マークで買ったものもたくさんあるといひます。



昨年度は協賛会社のスミフルジャパン（ベルマーク番号 70）のキャンペーンに当選。もらったバナナを使い、秋の PTA のバザーで「ベルマークを持ってきたらバナナをあげます」というイベントを開きました。バナナについているマークも含め、かなりの点数を集



めることに成功したそうで「きっと、それが 700 万達成に最後に役立ったのでは」と東さんたち。

池増さんは「取材を受けて 700 万点という価値を理解できました。丹波小のベルマーク運動が今後も発展するよう、これからも協力してやっていきたいです」と話してくれました。

川崎市立菅小学校 800 万点

校門に「ありがとうのバトンをうけつぎ、未来へむかって進もう菅っ子」というパネルがある神奈川県川崎市立菅小学校（戸塚裕康校長・児童 862 人）。創立 140 周年記念で作られたそうで、今年で 142 年という伝統校です。1964 年からベルマーク運動に参加し、今年 2 月に累計点数 800 万点を超えました。



7 月の全体集計日。午後 1 時、PTA ベルマーク委員会の委員長・八木澤恵美さん、副委員長の榊原周子さん、ベルマーク担当本部役員・杉本悦子さん、応援に駆け付けた PTA 会長の木村徹さん、さらに各クラス 1 人ずついるベルマーク委員の皆さんが集まり、作業を始めます。

回収月は年 7 回。委員が自クラス分を家庭で事前集計して持ち寄ります。全体集計では封筒や紙コップを使ってそれをまとめ直し、ダブルチェックも欠かしません。回収箱は近隣スーパーにもあり、「思っていたより回収量が多く、地域の人の協力で成り立っていることを知って驚いた」という声が挙がるほどだそうです。作業が進むうちに、授業を終えた「菅っ子」たちがお母さんの仕事の様子を見にきました。

活動について八木澤さんは、「歴代の先輩たちが残してくれた資料はあるが、どんな方法がいいのか模索中」。また榊原さんは「家庭で事前集計できるほど、学校全体がベルマーク収集に協力的です」と周囲への感謝を口にしました。



昨年度委員長を務めた伊達絵美さんは、800 万点達成について「協力いただける全ての方々の善意で成り立つ活動なので、負担を少しでも減らせるように心がけた」とコメント。また同副委員長の糟谷由美子さんは「へき地校や災害被災校への支援にもなる、やりがいのある活動だと思うので、今後もコツコツ続けていきたいです」と語ってくれました。

「西日本豪雨」被災校への支援をお願いします

ベルマーク「友愛援助」&ウェブベルマーク「くじ付き募金」など

7 月の西日本豪雨の被災校を支援するため、ベルマーク教育助成財団は緊急の友愛援助を引き続き募集しています。

友愛援助は、ベルマーク預金を使って直接資金を寄付することができる仕組みです。今回の豪雨では、浸水被害を受けたり、校舎が避難所として使われたりして、休校を余儀なくされた学校も多く、また自宅が被災して学用品を失った子どもたちもいます。厳しい環境に置かれた子どもたちに、どうか温かい支援の手を差し伸べてください。

協力していただける学校・団体は、財団ホームページの「ダウンロード」→「各種申込書」にある申請書に必要事項を記入して財団までお寄せ下さい。今年 12 月末まで受け付けます。

また、一般社団法人ウェブベルマーク協会も西日本豪雨被災校への緊急支援活動を始めています。

ウェブベルマークのホームページを経由してネットショッピングをすると、東日本大震災被災校への支援ができ、同時に自分が指定した学校にもベルマーク

点数がたまる——これがウェブベルマークの仕組みです。その学校指定機能に「西日本豪雨支援」という項目が追加されました。「広島市」「倉敷市」「宇和島市」の各小学校を検索すると、リストの最後に出てきます。マイページ登録時にこの項目を選ぶと、支援金はベルマーク財団に助成され、被災校全体のために使われます。すでにマイページ登録をしている方は「登録情報変更」から同様に「西日本豪雨支援」を選択してください。今年 12 月まで受付予定です。

またウェブベルマーク協会は、西日本豪雨の被害校に向けて、くじ付きのネット募金もしています。「Yahoo! ネット募金」を通じて、クレジットカードまたは T ポイントで 1 円（1 ポイント）から寄付できます。10 月 31 日の受付終了までに寄付された方の中から、抽選で 1 名に Samantha Thavasa のトートバッグ「サマンサ レディマイン」（株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド提供）をプレゼントします。詳しくはウェブベルマークの公式ブログで。

「えっ、なんで？」不思議いっぱい理科実験教室

岐阜・上原小でエジソンの会が開催



(写真左) 液体窒素をつめたいんだね！
(写真右) 終始目を輝かせていた子どもたち

岐阜県下呂市立上原（かみはら）小学校（栃本勝美校長）で8月27日、NPO法人サイエンスものづくり塾エジソンの会（華井章裕代表、岐阜市）による実験教室が開かれ、1～6年生の全校児童46人が参加しました。「理科実験教室」は財団によるへき地校支援の一環で、1999年度から昨年度まで221回開いています。

エジソンの会は、小学校の元PTA役員仲間で2004年に結成。現在20人ほどで活動し、6月には学校での理科実験教室1000回を達成しました。代表を務める華井さんは高校教師として30年ほど前に下呂市で勤務しており、上原小の先生の中にも元教え子がいます。



まずは、細長い風船を使った手品からスタート。軽く飛ばすと1、2秒後に

空中でパンと割れました。「どうやって割ったの？」「針を持っているのかな」。繰り返すうち、前の方に座っていた子が「みかんの匂いがする！」。ゴムを溶かす性質がある柑橘油を、風船を飛ばす直前に塗っていたのでした。



三寸釘600本の上に立つ実験などを経て、この日のメインの、マイナス196度の液体窒素を使った実験です。花や葉を浸して手で軽く包み込むと、簡単に粉々に崩れます。「わあ～パリパリ！」「つめたーい」と児童は大はしゃぎ。

誰もが一度は憧れる「凍ったバナナで釘を打つ」実験もありました。続いて、酸素を入れた風船を液体窒素に浸します。「割れる・コチコチに凍る・しばむ・膨らむ……さてどうなるでしょう？」。

正解は「しばんでから、外に出すと膨らむ」でした。二酸化炭素を入れた風船なら、「しばんで膨らむ」のは同じで

すが、中にドライアイスができます。「ドライアイスは手にくっつくから触っちゃだめって言われた事があると思うけど、本当は凍りません」と華井さん。「えっなんで？」と、子どもたち。実際に乾いたティッシュに触れさせるとパリパリにならずにそのままです。「水分がないと凍らない」ことが分かりました。

華井さんは、「なんで？」と聞かれても「今はまだ分からなくてもいいよ」とあえてすぐには答えを教えません。「低学年だとまだ習っていない事も沢山あり、後で学んだ時に『あの時実験した事はこれだったんだな』と思い出せるのが重要。幼いうちは楽しい実験を通じてその種をまくことが大切です」。



第二部はワークショップ。細長いカラーテープを回すときれいな色になる



「くるくるレインボー」、風船とCDを使った「ホバークラフト」を作りました。

上原小は、保護者をはじめ地域の人たちが子供会などに協力的で、「地域で子供を育てる」意識が強いそうです。ワークショップでも上級生が下級生を手伝う場面が見られました。

最後に6年生の女子が「やってみたい事が色々できて、いろんな作品を作れてみんなで楽しめました」とお礼の言葉を述べて教室は終了。栃本校長は「子供が自分で勉強しようと思うのは『なんでだろう？』と不思議に思った時。子供の学習意欲を高めるチャンスをいただき有り難いです」と話していました。

上原小は1982年からベルマーク運動に参加し、竹馬や一輪車などを購入して授業で活用しています。

「メリットは？」「昔のマークって…」「頭が爆発！」

自由研究で小学生の財団見学相次ぐ

自由研究のため財団を見学に来る小学生が8月も相次ぎ、マークの集まる倉庫や点検作業などを見学してもらいました。成果はどうだったかな？

東京都新宿区立市谷小学校5年の小川真優（まひろ）さんとお母さんの未香さんは10日に財団を訪問。「ベルマーク運動は、財団にはどんなメリットが？」と、ドキッとするような質問を考えてきました。財団からの回答は「子どもたちの笑顔に出会えることが一番うれしいことです」。真優さん、満足してくれましたか。



市谷小には一輪車があるそうで、「きっとベルマークで買ったのでは。誰かの努力で結果が出ていることを、色んな人に知って欲しい」と真優さん。未香さんも「こういう活動は、もっと広がっていかねければ」と思いを新たにしていました。

川崎市立生田小学校4年の大沼智紗さんが、祖母の教子さんに連れられてきたのは24日。お母さんがPTA

でベルマークの作業をしていたのがきっかけで、自由研究のテーマにベルマークを選んだそうです。

事前に「昔のマークを見せてほしい」というご要望があり、職員が用意したのは、財団が「教育設備助成会」だった時代のマーク。今と違ってベルマーク番号が書かれておらず、ベルの絵柄のないものもあります。智紗さんは「ベルマークのひみつ」という本で予習してきたそう。貴重なマークをカメラに収めようと真剣でした。たくさんの資料を受け取り、「思っていたより財団の仕事は大変だった。それを発表したい」と話しました。

東京都中野区立谷戸小学校5年生の鈴木烈さん、岩崎美和さん、赤間千聖さん、野村杏樹さんと母親の野村しのぶさんは、8月29日に財団へ。自由研究とは別の夏休みの課題「施設見学のレポート」を書くためです。し



のぶさんはPTAで仕分け作業の経験があり、谷戸小は昨年ベルマークで校旗を買ったそうです。



4人は倉庫で都道府県別の箱にベルマークを整理するお手伝いもしましたが、「この部屋の中にベルマークが何点ある？ ヒントは3月の一番多い時で1億2000万」と逆に質問されドギマギ。正解は約6800万点でした。財団としては少ない時期なのですが「それでもこんなにあるなんて」とびっくり。ベルマークには協賛会社など多くの人が関わっていることも発見だったようで「大変そう」「私だったら頭が爆発しそう」と素直な感想が漏れていました。

このほか、7月には、ベルマーク説明会の八王子会場で発表を引き受けていただいた神奈川県相模原市立久沢小のベルマークボランティア「ベルベルぐみ」のお母さんのうち4人も財団見学に来てくれました。

遠くの被災地に支援の手を

🚩 かごしまベルマーク運動推進の会ルポ

鹿児島市の中心街にあるかごしま市民福祉プラザの4階、ボランティアセンターに、小学生からお年寄りまで28人が集まりました。かごしまベルマーク運動推進の会のメンバーです。第二土曜日の午後、ここでマークの仕分け・集計作業をしています。7月13日、その活動を見学に訪れました。

会の代表がベルマーク大使でもある平嶺光子さんから10代の4姉妹に交代し



て最初の会合でした。冒頭、新代表のうち板坂麻菜華さん、ありささんが、あいさつに立ちました。「6年前から活動しています。東日本大震災の1年後に現地を訪れて、いろいろ学びました。遠い鹿児島からでもボランティアができると知って活動を始めました。離れたところからでも、誰でも参加できるのがベルマーク運動。がんばって行きたいです。目標は、鹿児島市民1人1点として、60万点です」と麻菜華さん。

ベルマーク大使でジブラルタ生命の松本哲さんも応援に駆けつけました。土曜日のボランティアセンターは他に人も少なく、広いロビーにある机をほぼ全面的に利用できます。みな、思い思いのグループに別れて作業を始めました。

使っている道具をよく見ると、どこか見覚えのある形。「そう、これは豆腐のパックです。あっちはかき氷」と説明してくれたのは清原久子さん(75)。東日本大震災の報道で津波に車が流されていく映像を見て、1993年に地元・鹿児島で起きた水害の記憶と重なり、何かでき

ないかと思ったそうです。「そんな中、新聞で会の活動を知り、これだ!と思うて飛びついた」と話してくれました。

隣にいた川原テルさん(73)も、そう思った1人。「活動の案内が新聞にその都度載っている。継続的でしっかりした団体だと思い、参加しました」。

黙々と続く作業は、1時間ほどで小休憩に。お茶とお菓子が用意されました。お菓子は、チョコにクッキー、おせんべと種類も豊富でおいしそう。バザーなどで稼いだ資金で買うほか、いただきものもあるとのことでした。

そのころになると、板坂菜々乃さん、茉莉菜さんも姿を見せ、4姉妹が勢揃い。地元紙の南日本新聞の記者も取材に訪れ、4人にインタビューを始めました。この取材は後日、同紙で大きく報道され、平嶺さんのもとには問い合わせ電話が朝から入り続けたそうです。

4姉妹は松本大使とも対面。平嶺さんも加え、2人の大使と4姉妹が財団マ



スコットのベルマーくんと一緒に写真を撮らせていただき、財団公式Instagramにアップしました。

姉妹のお母さんの板坂朋子さんによると、いちばん下のありささんが初めて会に参加した帰り道、「あー、小数点習っていて、よかったー」と話したことが印象深く残っているそうです。当時ありさんは小学4年生。習ったばかりの小数点を使えて充実感を持ったのでしょう。「それ以来、みんな『楽しい』と、ずっと参加させてもらっています」

この日、お母さんたちときた6年生

豪雨禍の広島に1万点寄贈

🚩 キューアンドエー株式会社が収集・仕分け

笹塚にあるキューアンドエー株式会社(川田哲男社長、本社・東京都渋谷区)本社の会議室に7月のある日、ベルマークの入った袋が積み上げられました。

コールセンターやICT(情報通信技術)サービス、人材派遣事業などを展開している同社は、創立20周年の記念事業として昨年2月から、全国の事業拠点とグループ会社の社員3000人にベルマーク収集を呼びかけていました。その仕分け作業が始まるのです。



「同じ会社でもマークが何種類もあるんですね」「デザインが違ってても、点数が一緒なら分けなくて良いんですか?」「きれいに切り直した方が良いでしょうか」……。皆さん熱心に質問しながら、手際よく作業を進めます。

初めての作業にも関わらず、会社ごとに用意した紙コップは1時間でいっぱいになりました。広報担当の大野香穂里さんは、「種類が多くて難しいイメージがありましたが、思っていたより早く仕分けできました」と話してくれました。

今回一番多く集まったのはファミリーマートのおむすび、2位は麒麟ビバ

レッジの生茶でした。来客用のお茶を生茶に切り替え、社内の自販機の隣にハサミと回収箱を置いた結果、回収率がかなり上がったといいます。川田社長もペットボトルのラベルを自らはがして必ず集めているそうです。

ベルマーク運動担当の副社長・常務秘書の山田有子さんによると、ファミマのおむすびを毎日食べてコツコツ集めてくれた人、保険証券など目につきにくいマークをわざわざ探して送ってくれた人もいたそうです。「豪雨災害に遭った広島の実業拠点からもベルマークを通じて役に立ちたいという声があがりました」。仕分けたマーク(約1万点)は広島県立広島南特別支援学校に寄贈されました。「近隣にはオペレーションセンターもあり、地域に密着した貢献を、と選びました」。



ベルマーク運動を取りまとめるリレーション・ブランディング戦略本部の部長で執行役員の安達あけるさんは、「誰でも気軽に取り組めるのがベルマークの良いところ。今後も全国の子どもたちの役に立ちたい」と思いを込めました。

の川島陽樹(はるき)くんは、今回が5回目の参加。お手伝いとして始めたけれど「楽しい。ひとつのことを頑張ってやるところがいい」。一緒に来ていたお姉さんの中学2年、由奈さんは「集めていたベルマークが、その後はどうなるのかなと興味がわき、会に参加するようになりました」と話してくれました。



天然地下水で洗ったバナナ スミフルが新発売

協賛会社のスミフルジャパン(ベルマーク番号70)が、より安全・安心を求めるお客様向けに、天然地下水で綺麗に洗浄した「メキシコ産 有機栽培バナナ」の販売を始めます。

このバナナは、食品安全の総合的な「適正農業規範(GAP)」や、森林の維持保全、貧困の緩和といった基準を満たし、認証を取得した農園で作られています。禁止農薬や化学肥料を使わずに栽培し、収穫後に天然地下水で洗浄。使った後の水は畑にある池に貯め、灌漑用水として再利用するなど、持続可能性に配慮したバナナです。3点のベルマークがついています。

他に「メキシコ産 熟撰おいしいバナナ(ベルマーク1.5点)」も同時発売しました。商品情報は同社HPから。



ベルマーク財団からの今年度の学校支援

ベルマークを集めて学校の備品をかうと、その金額の10%が教育環境に恵まれない学校への支援資金になります。ベルマーク財団は、この資金や各種寄付金、寄贈マークなどを使って、今年度も国内外のさまざまな学校に対しての支援事業を実施しています。

【国内】東日本大震災被災校＝岩手・宮城・福島3県の小中学校に計1020万円相当の教育備品やバス費用を支援▽西日本豪雨被災校＝被害を今後調査して実施▽へき地学校＝100校に希望の備品・教材(1校30万円相当)と朝日ジュニア学習年鑑を贈呈。一輪車と理科実験の出前教室を計14校で予定▽特別支援学校＝58校に希望の備品・教材または拡大読書器かプロジェクター▽院内学級＝4学級にタブレットなど

【国外】日本人学校・補習校＝4校に希望の備品・教材▽アジアを中心とした開発途上国＝保健教育活動、給食プログラム、図書室や寺子屋の開設など、国際NGOが進める9事業を支援

ベルマーク便りコンクール 締切迫る(9月30日)

第33回ベルマーク便りコンクールの締め切りが9月30日(消印有効)に迫ってきました。応募すれば、もし受賞を逃したとしても、参加賞として2000円の図書カードがもらえます。ぜひご応募ください。

【応募方法】家庭や子どもたち、地域の人たちに向けた、ベルマークの収集や活動への協力を呼びかけるお知らせや新聞、広報紙をお送りください。特集号や冊子なども含め、過去1年以内(2017年10月1日～2018年9月30日)に製作されたものが対象です。サイズや、カラーか白黒かは問いません。年間の活動状況がわかるように、なるべく多くの作品をお送りください。肖像権や著作権上で問題となる可能性がある内容については審査の対象外となる場合があります。

【あて先】〒104-0045 東京都中央区築地5-4-18、ベルマーク財団「ベルマーク便りコンクール係」

【賞金と参加賞】優秀賞10点に各3万円と副賞として額入り表彰状、佳作10点と特別賞には各1万円と額入り表彰状を贈呈。11月に財団HPで発表します。

大台達成校 (数字は累計点数)

1月		
豊浦小	山口県下関市	11,019,349
菅小	川崎市多摩区	8,030,381
丹波小	鹿児島県指宿市	7,015,384
本庄東小	埼玉県本庄市	5,055,201
原小	静岡県沼津市	5,023,941
寒田小	大分市	5,024,484
真岡西小	栃木県真岡市	4,021,592
十二月田中	埼玉県川口市	4,001,354
精華小	横浜市神奈川区	4,005,873
東濃特別支援学校	岐阜県土岐市	4,017,407
在良小	三重県桑名市	4,022,189
二見北小	兵庫県明石市	4,000,129
北沢又小	福島市	3,009,291
小見川北小	千葉県香取市	2,001,889
武庫東中	兵庫県尼崎市	2,027,346
旭ヶ丘小	奈良県香芝市	2,054,101
佐川小	高知県佐川町	2,010,909
常盤小	札幌市南区	1,008,552
西海小	青森県鯉ヶ沢町	1,011,435
東海岸小	神奈川県茅ヶ崎市	1,035,799
本郷特別支援学校	横浜市栄区	1,003,988
藤が丘小	名古屋市名東区	1,008,527
横川小	半田市	1,011,152
明和小	鹿児島市	1,001,519

2月		
仁和小	京都市上京区	9,081,422
高松第一小	高松市	9,010,017
志度小	香川県さぬき市	7,019,675
東林小	相模原市南区	6,013,050
津久井小	横須賀市	6,046,855
宮前小	松山市	5,000,076
中部小	千葉県松戸市	4,004,702
明治小	神奈川県藤沢市	4,051,476
明立小	広島県呉市	4,012,650
祇園小	広島市安佐南区	4,034,647
府中央小	広島県府中町	4,025,463
青山小	盛岡市	3,025,564
我孫子第二小	千葉県我孫子市	3,033,900
幸ヶ谷小	横浜市神奈川区	3,005,494
駒岡小	横浜市鶴見区	3,024,015
国府小	岐阜県高山市	3,027,778
中小	大阪府箕面市	3,009,037
藻岩南小	札幌市南区	2,004,417
対雁小	北海道江別市	2,006,387
余目第一小	山形県庄内町	2,028,271
久米川小	東京都東村山市	2,019,440
梓川小	長野県松本市	2,016,518
安城東部小	愛知県安城市	2,008,718
天王小	愛知県豊川市	2,309,802
神興東小	福岡県福津市	2,016,013
犬飼小	大分県豊後大野市	2,010,854
修紅短期大学附属認定こども園		

	岩手県一関市	1,000,627
岩木小	千葉県野田市	1,049,151
玉造小	千葉県成田市	1,018,792
和良比小	千葉県四街道市	1,012,307
法城学園駿河台幼稚園		
	静岡県藤枝市	1,009,083
本地原小	愛知県尾張旭市	1,015,897
岩船小	大阪府交野市	1,000,514
西城小	広島県庄原市	1,014,466
下ノ江小	大分県白杵市	1,010,259
宮崎西中	宮崎市	1,013,328

3月		
修学院小	京都市左京区	6,017,971
末長小	川崎市高津区	5,028,438
御園小	石川県野々市市	5,009,892
大和田小	埼玉県新座市	4,042,952
東越谷小	埼玉県越谷市	4,063,146
西原小	さいたま市岩槻区	4,027,152
大久保東小	千葉県習志野市	4,008,291
成美小	大阪府寝屋川市	4,003,622
長松小	佐賀県唐津市	4,015,508
八木山小	仙台市太白区	3,027,271
大門小	横浜市瀬谷区	3,011,714
早島小	岡山県早島町	3,033,891
滝尾小	大分市	3,022,914
栄小	さいたま市西区	2,003,095
高神小	千葉県銚子市	2,000,653
虹ヶ丘小	川崎市麻生区	2,004,194
九条南小	大阪市西区	2,023,011
西大寺小	岡山市東区	2,010,536
広木小	鹿児島市	2,021,583
八戸第二養護学校	青森県八戸市	1,003,403
津志田小	盛岡市	1,038,251
八幡花園幼稚園	宮城県多賀城市	1,004,635
新井小	横浜市保土ヶ谷区	1,052,384
谷口小	相模原市南区	1,006,186

植柳小	熊本県八代市	1,003,117
-----	--------	-----------

4月		
三橋小	さいたま市大宮区	8,059,208
菊名小	横浜市港北区	5,046,876
山崎小	神奈川県横須賀市	5,044,840
金沢小	青森市	4,029,819
蘇我小	千葉市中央区	4,031,411
青葉小	北九州市若松区	4,029,729
双葉台小	茨城県水戸市	3,005,149
成増小	東京都板橋区	3,011,798
菅谷西小	茨城県那珂市	2,010,491
志津小	千葉県佐倉市	2,016,837
大洲小	千葉県市川市	2,024,125
北野小	東京都三鷹市	2,001,963
村岡小	神奈川県藤沢市	2,009,909
大野小	岡山市北区	2,027,348
西紫原小	鹿児島市	2,007,968
日吉台小	宮城県富谷市	1,018,143
東豊田小	静岡市駿河区	1,027,054
平針北小	名古屋市天白区	1,001,729
白浜保育園	和歌山県白浜町	1,032,211
小倉南特別支援学校		
	北九州市小倉南区	1,001,019
郡山小	鹿児島市	1,000,666

5月		
末吉小	横浜市鶴見区	5,016,120
勝沼授産園	山梨県甲州市	5,001,380
鶴ヶ峯小	横浜市旭区	4,009,888
上三川小	栃木県上三川町	3,037,397
富田林小	大阪府富田林市	3,012,664
桜木小	山口県周南市	3,013,898
小栗原小	千葉県船橋市	2,000,858
世紀小	鳥取市	2,084,848
戸坂小	広島市東区	2,021,462
富士リズム幼稚園	静岡県富士市	1,015,421
作東中	岡山県美作市	1,011,142
室見小	福岡市早良区	1,010,996

6月		
鶴久保小	神奈川県横須賀市	7,042,197
荘山田小	広島県呉市	6,025,392
呉服小	大阪府池田市	5,009,233
寿小	茨城県水戸市	4,008,178
七条第三小	京都市下京区	4,020,191
西諫早小	長崎県諫早市	4,045,673
大船渡北小	岩手県大船渡市	3,337,870
たちばな小	松山市	3,030,184
塩原小	福岡市南区	3,002,038
伊敷中	鹿児島市	3,038,942
上小岩第二小	東京都江戸川区	2,007,777
寺泊小	新潟県長岡市	2,000,908
坂下中	愛知県春日井市	2,020,844
千里丘小	大阪府摂津市	2,010,810
福石小	長崎県佐世保市	2,006,861
塚脇小	大分県玖珠町	2,038,929
富良野聖園幼稚園		

	北海道富良野市	1,003,476
明德小	茨城県北茨城市	1,045,881
小山城北小	栃木県小山市	1,000,977
八幡北小	埼玉県草加市	1,013,353
藤小	埼玉県鶴ヶ島市	1,023,003
川見学園吹上幼稚園		
	千葉県浦安市	1,014,651
泉谷小	千葉市緑区	1,001,247
多々良幼稚園	山口県防府市	1,008,998
北島小	徳島県北島町	1,005,049
岩松小	佐賀県小城市	1,006,936
日吉東小	熊本市南区	1,018,337

7月		
大池小	大阪府豊中市	9,002,572
高津小	川崎市高津区	8,035,371
葵小	静岡市葵区	8,031,278
相模が丘小	神奈川県座間市	6,007,226
醸芳小	福島県桑折町	5,005,722
青木中央小	埼玉県川口市	5,033,853
文閼小	山口県下関市	5,018,856
大利根東小	埼玉県加須市	4,002,204
芝南小	埼玉県川口市	4,041,683
柳井小	山口県柳井市	4,057,801
生石小	松山市	4,006,187
栗山小	北海道栗山町	3,009,702
本郷小	茨城県阿見町	3,001,975
舟渡小	東京都板橋区	3,073,196
煙山小	岩手県矢巾町	2,017,046
荒町小	仙台市若林区	2,014,270
下曾我小	神奈川県小田原市	2,023,231
長坂中	神戸市西区	2,025,619
大松小	徳島市	2,039,586
佐々小	長崎県佐々町	2,011,273
開南小	那覇市	2,015,403
古川第五小	宮城県大崎市	1,028,501
阿見第二小	茨城県阿見町	1,000,226

高柳西小	千葉県柏市	1,006,276
武石小	長野県上田市	1,008,830
佐伯幼稚園	京都府城陽市	1,006,187
勝間幼稚園	香川県三豊市	1,004,438
久留米信愛幼稚園		
	福岡県久留米市	1,003,262
星ヶ丘小	北九州市八幡西区	1,000,432
西里小	熊本市北区	1,025,485
免田小	熊本県あさぎり町	1,081,174

8月		
郡山第一中	福島県郡山市	18,001,376
国高小	福井県越前市	6,010,091
湘南白百合学園小		
	神奈川県藤沢市	4,003,849
南小	静岡県伊東市	4,029,937
大府小	愛知県大府市	4,020,981
南高安小	大阪府八尾市	4,002,955
中村小	高知県四万十市	3,005,469
名寄小	北海道名寄市	2,016,331
英彰小	堺市堺区	2,005,490
中庄小	岡山県倉敷市	2,012,323
鶏鳴小	長崎県対馬市	2,003,331
下郡小	大分市	2,045,773
沖代小	大分県中津市	2,017,728
大迫小	岩手県花巻市	1,004,329
南下浦小	神奈川県三浦市	1,018,355
高原保育園	富山県立山町	1,007,129
神久呂中	浜松市西区	1,014,274
特別支援学校聖母の家学園		
	三重県四日市市	1,013,022

兵庫教育大学附属小		
	兵庫県加東市	1,013,281
須崎小	高知県須崎市	1,023,189
茶山カトリック幼稚園		
	福岡市城南区	1,024,164
黒木学園	徳力団地幼稚園	
	北九州市小倉南区	1,002,989
長崎県立虹の原特別支援学校		
	長崎県大村市	1,018,942
坂ノ市中	大分市	1,011,549

友愛援助 2017 年度

1月1日から1月31日までに申し込んだ分
▼北海道 あやめ野小（札幌市豊平区）▼青森県 北園小（十和田市）▼岩手県 花巻清風支援学校北上分教室（北上市）▼茨城県 みずほ小（河内町）▼埼玉県 栄和小（さいたま市桜区）潮止小（八潮市）▼千葉県 上の台小（千葉市花見川区）西中（大多喜町）▼東京都 あおい第一幼稚園（府中市）旭が丘小（日野市）▼神奈川県 子安小（横浜市神奈川区）汐見台中（横浜市磯子区）永野小（横浜市港南区）東本郷小（横浜市緑区）▼新潟県 五十沢中（南魚沼市）▼富山県 若葉幼稚園（富山市）定塚小（高岡市）▼長野県 中野小（中野市）▼三重県 多度中（桑名市）▼滋賀県 瀬田中（大津市）▼京都府 京都女子中（京都市東山区）明倫小（舞鶴市）▼大阪府 樟葉西中（枚方市）▼福岡県 福岡雙葉中・高（福岡市中央区）春日南小（春日市）前原西中（糸島市）▼長崎県 上山小（諫早市）▼大分県 判田小（大分市）
2月1日から2月28日までに申し込んだ分
▼北海道 神居保育園（旭川市）▼岩手県 田野畑中（田野畑村）▼山形県 寒河江小（寒河江市）▼埼玉県 大砂土東小（さいたま市見沼区）常磐北小（さいたま市浦和区）▼千葉県 幕張インターナショナルスクール（千葉市美浜区）市川公民館（市川市）旭中（四街道市）▼東京都 文京区立第十中（文京区）立会小（品川区）豊玉小（練馬区）明昭第二幼稚園（葛飾区）けやき台小（立川市）成瀬中央小（町田市）小平第三小（小平市）第四小（東大和市）▼神奈川県 船越小（横須賀市）清泉女学院中高（鎌倉市）▼富山県 中央小（富山市）▼岐阜県 華陽小（岐阜市）▼静岡県 北幼稚園（三島市）豊田南中（磐田市）▼滋賀県 北野幼稚園（野洲市）▼大阪府 大阪ビジネスフロンティア高（大阪市天王寺区）北山田小（吹田市）▼兵庫県 白金小（猪名川町）▼鳥根県 有福保育園（浜田市）▼広島県 大塚小（広島市安佐南区）▼福岡県 霧丘小（北九州市小倉北区）守恒小（北九州市小倉南区）柏陵高（福岡市南区）赤間小（宗像市）
3月1日から3月31日までに申し込んだ分
▼北海道 常磐中（札幌市南区）やまびこネットワークこだま教室（士別市）▼茨城県 友部東特別支援学校（笠間市）▼千葉県 高野山小（我孫子市）▼東京都 松丘小（世田谷区）▼神奈川県 港南台第一中（横浜市港南区）桂台小（横浜市栄区）大磯小（大磯町）▼長野県

岸野保育園（佐久市）▼岐阜県 芥見小（岐阜市）▼愛知県 高杉中（名古屋市中川区）▼三重県 厚生小（伊勢市）四郷小（伊勢市）▼滋賀県 晴嵐小（大津市）瀬田中（大津市）長浜小（長浜市）▼京都府 大原野小（京都市西京区）▼兵庫県 榎列小（南あわじ市）▼岡山県 倉敷市立西中（倉敷市）▼広島県 ノートルダム清心高（広島市西区）美鈴が丘高（広島市佐伯区）▼福岡県 西南学院小（福岡市早良区）上野小（福智町）▼大分県 挾間小（由布市）

友愛援助 2018 年度

4月1日から4月30日までに申し込んだ分
▼岩手県 御辺地中（二戸市）遠野聖光こども園（遠野市）▼神奈川県 浜中（横浜市磯子区）▼長野県 会染小（池田町）▼岐阜県 県立岐山高（岐阜市）▼愛知県 汐路中（名古屋市瑞穂区）▼三重県 佐奈小（多気町）▼岡山県 高梁北中（高梁市）▼広島県 なぎさ公園小（広島市佐伯区）▼高知県 須崎小（須崎市）
5月1日から5月31日までに申し込んだ分
▼埼玉県 加治小（飯能市）八石小（新座市）▼神奈川県 鵠沼小（藤沢市）北大和小（大和市）▼長野県 白馬中（白馬村）▼福岡県 古月小（鞍手町）▼長崎県 長崎商業高（長崎市）▼大分県 南大分中（大分市）
6月1日から6月30日までに申し込んだ分
▼北海道 北海道有朋高（札幌市北区）▼東京都 上北沢小（世田谷区）▼山梨県 大月東小（大月市）▼山口県 西宇部小（宇部市）▼宮崎県 五ヶ瀬中等教育学校（五ヶ瀬町）
7月1日から7月31日までに申し込んだ分
▼千葉県 上の台小（千葉市花見川区）▼神奈川県 セント・メリー幼稚園（横浜市保土ヶ谷区）▼三重県 久居高（津市）▼岡山県 豊小（岡山市東区）
8月1日から8月31日までに申し込んだ分
▼北海道 平岡公園小（札幌市清田区）▼青森県 城南小（上北郡七戸町）▼東京都 富士見丘小（昭島市）▼長野県 塩田中（上田市）▼鳥取県 鳥取市立南中（鳥取市）



たくさんのご協力を
ありがとう!!